

## 《 事業委員会からのお知らせ 》

☆『2024 建築塗装 WEB セミナー～色彩編～のご案内』⇒別添の案内もご覧ください

■日 時：2024年11月13日(水) 17:00～18:00 (ZOOM アプリでの開催)

■内 容：① 建築色彩の基礎知識 50分  
② 質疑応答 10分

■CPD 単位認定講習会 (参加費無料)

■申し込みは別紙ご案内をご覧ください。申込用紙に会社名、出席者様、CPD 制度ご利用の方は個人 ID(建築士登録番号)をご記入の上、メール又は FAX にて建築士会札幌支部事務局へ申し込み下さい。後日、建築士会札幌支部事務局よりメールにて招待 URL をご連絡致します。(ZOOM アプリで開催予定です)

■申 込 先：一般社団法人 北海道建築士会札幌支部事務局

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地大五ビル6階

Email: hksj@h-hab.com

TEL: 011-232-1843

FAX: 011-222-0924

## 《 交流委員会からのお知らせ 》

☆北海道建築士会札幌支部主催の『ボウリング大会』と『忘年会』を開催いたします

☆お楽しみ抽選会も予定しておりますので、奮ってご参加ください。

⇒詳細は別添のご案内をご覧ください

### ■『ボウリング大会』

・開催日時： 令和6年12月7日(土) 16:00 スタート  
・会 費： 1,000円(税込) ※2 ゲーム料金、貸靴代含む

★ボウリング部第2回例会開催風景より

### ■『忘年会』

・開催日時： 令和6年12月7日(土) 18:00 スタート  
・会 費： 3,500円(税込)、飲み放題付  
・そ の 他： ボウリング成績発表(賞品あり)&お楽しみ抽選会



### お申込みについて

・申込締切： 令和6年11月22日(金)  
・申込方法： 別添のご案内用紙に必要事項をご記入の上、札幌支部事務局宛てにお申し込みください。

## 《 まちづくり委員会からのお知らせ 》

☆冬のまち歩き「きらめく夜のゆるさんぽ」を開催します。⇒別添の案内もご覧ください

一昨年好評だった冬の夜のまち歩きを、今年は「札幌の美しい景観を考える会」様「サインデザイン協会」様との共催で行います。札幌らしいイルミネーションが煌めく街で、専門家による広告やネオンサインのよもやま話を聞きながら、新旧の建築の夜景を観てゆるっと歩きましょう。

■日 時：令和6年12月11日(水) 18:30～20:00

■集合場所：チ・カ・ホ 赤れんがテラス前 (B1F モンベル、CAFÉ YOSHIMI 前)

解散場所：すすきの駅

■参加費：無料

■定 員：15名(先着順)

■申込方法：下記申込みフォームにて11/30まで受付

<https://forms.gle/Jhbk1UhqEvcz2Py16>



## 《 クラブ活動からのお知らせ 》

☆皆様も士会仲間でクラブ活動しませんか！参加者随時募集中

■クラブ活動のページへ

<https://h-ab.com/sapporo/about/sapporo-club.html>

### ☆札幌支部クラブ活動の報告

- ・グルメの会 第3回は11月(台湾料理)の予定です。
- ・ボウリング部 第3回例会は？ 12月7日(土)の支部大会の入賞を目指しています。
- ・カーリンコン部 11月10日(日)の江別大会に参加します。
- ・登山、ハイキング部 11月2日(土)イチャンコッペ山登山の予定です。
- ・そば部 第1回例会10月19日(土)に開催  
参加6名でした。  
次回は12月中旬の予定です。



## 《 本部より 》

☆北海道建築士会ホームページ “会員専用ページ” でオンデマンド配信中！

■視聴方法：北海道建築士会HPの「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力

【11月パスワード：**Kam049**】

## 《 北海道建築指導センターからのお知らせ 》

☆『令和6年度11月住宅講座のご案内』

■日 時：令和6年11月29日(金) 14:00～16:00

■定 員：40名 ■参加費：無料

■会 場：かでの2・7 7階「730 研修室」(札幌市中央区北2条西7丁目)

■テ ー マ：「屋根と外壁のリフォームからメンテナンスまで」  
～相談事例から学ぶ、張替え、塗替えの基礎知識～

■概 要：住宅相談で年間を通して多いのが、屋根、外壁のリフォームです。  
張替えか塗替えかの決定には正しい知識と現状の把握、将来の展望も大切です。事例をみながら、我が家のリフォームを計画してみませんか。今すぐ使えるセンター作成の、日頃の点検、補修の自己点検シートもお渡しします。

■講 師：早川 陽子 氏

一級建築士事務所早川陽子設計室 主宰(小樽市)

(一財)北海道建築指導センター 住宅相談員

■主催/お問合せ：(一財)北海道建築指導センター 企画総務課 TEL 011-241-1893

■申し込み方法：案内チラシの申込書により FAX、またはお電話でお申し込みください。

■案内チラシはこちらから

[https://hokkaido-ksc.or.jp/assets/files/06\\_event/R6.11\\_jutakukoza.pdf](https://hokkaido-ksc.or.jp/assets/files/06_event/R6.11_jutakukoza.pdf)



## 《 アトリエ構造設計事務所有志からセミナーのお知らせ 》

☆『アトリエ構造設計事務所の仕事 2024in 札幌&Zoom によるオンライン配信』のご案内

⇒別添の案内もご覧ください

■日 時：令和6年11月8日(金) 17:30～21:00 (開場 17:00)

■会 場：北海道大学工学部建築都市スタジオ棟 MUTSUMI ホール(札幌市北区北12条西8丁目)

■概 要：様々な建築家と協同し、多彩で魅力的な建築の構造を提案・設計してきた構造設計者がアトリエ構造設計事務所の働き方を中心に語ります。働き方が多様化する現在、組織設計事務所やゼネコンとは異なる専門技術事務所で働くことの魅力。独立するまでの経緯、将来の展望など。働き方に対する多様な選択肢の一端が見えるはずです。事務所見学やインターンの案内もあります。構造設計に興味のある学生さんは是非ご参加下さい。

■申し込み方法：別添のご案内に QR コード及びアドレスを掲載していますのでこちらから願い致します。

## 『失敗から学ぶ』 VOL.30 《寒冷地の設備》

日々の業務でヒヤリ！ハット！した情報を活用して自分をスキルアップしよう(作:井上勝己)

### ■はじめに

寒冷地の設備設計は基本的な寒冷地仕様のポイントを理解して設計しないと大きなトラブルの原因になります。

又、意匠設計者は設備設計者に丸投げしないで連携して設計することがトラブル防止につながります。

※建築と設備の分業による接点部の調整不良によるトラブルが多いので他人事にせずに取り組むことが、後日のトラブル防止になります。

### ■積雪で維持管理できない

①目隠し用のフェンスで囲まれた屋外機置き場が積雪で埋まり維持管理ができなくなった。

※目隠しフェンス等で屋外機を囲う場合は設計時に除雪・排雪の有無の確認が必要、維持管理スペースは十分な広さを確保し除雪・排雪を考慮する。排雪する場合は搬出ルートを確認するのがポイントです。

②屋上への出入口扉が積雪で開かなくなり屋上設備機器の維持管理ができなくなった。

※出入口は庇を設置、積雪を考慮した扉下部の高さとする。維持管理通路にヒーティングを設置する。

③屋外消火栓、屋外連結送水管までのルートが降雪時に随時除雪が必要でクレームになった。

※積雪を考慮した維持管理ルートの設計がポイントになりますが随時除雪が必要な計画とする場合は、設計時にお客様に親切な説明と同意をいただくことがポイントです。

④屋上のキュービクル屋根の雪が内部の発熱で融けて床に氷塊ができて点検扉が開かなくなった。

※維持管理通路にヒーティングを設置、又は氷塊ができて扉が開閉可能な段差の調整がポイントです。

### ■積雪で屋外機が運転停止してクレーム

①積雪で屋外機の給気口が埋まり運転停止してクレームになった。

※屋外機は給排気口が積雪で埋まらない高さの基礎を考慮する。

地域の積雪量、24時間の積雪量などを確認して基礎高さの設定がポイントです。

②粉雪が給気口から吹き込み空調機フィルターが目詰まりして運転停止してクレームになった。

※給排気口は季節風に面しないことや防雪フード・防風板等の設置がポイントです。

### ■融雪水が天井から漏水してクレーム

ダクトに吹き込んだ粉雪の融雪水が天井から漏水してクレームになった。

※給排気口に接続するチャンバーやダクトは粉雪が吹き込み融けても漏水しないように対策がポイントです。

チャンバー下部は融雪水を屋外に排水できるように排水勾配付きとします。

ダクトは排水を考慮しダクトのジョイント部は止水対策をするのがポイントです。

## 自習型認定研修の設問



### 設問 1

寒冷地の設備設計で正しいのはどれか？

- 全て設備設計者の責任で設計する。
- 冬期間の維持管理は除雪を前提とした計画をする。
- 冬期間の除雪や維持管理を考慮した設計を行う。

### 設問 2

寒冷地の設備設計で正しいのはどれか？

- 冬期間の設備維持管理ルートは設備設計者の責任となる。
- 除雪すれば給気口高さの考慮は不要。
- 防雪ガラリーを設置しても粉雪はダクトの奥まで吹込むことを考慮する。

認定教材の設問への回答は、CPD 情報システムのページ <https://jaeic-cpd.jp/> にアクセスのうえ、お願いします。  
※不正の場合は、単位に登録できない場合があります。